

- 1 広域的な防災計画への位置付け
 - ・国や都道府県が策定する地域防災計画や受援計画、新広域道路交通計画において、広域的な防災拠点として位置付けられていること。
- 2 災害時に求められる機能の整備
 - ・耐震化や無停電化が施され、災害時でも業務を継続できる施設であること。
 - ・通信や水の確保が可能であり、災害時に必要なインフラが整っていること。
 - ・2500㎡以上の駐車場を備え、支援活動の拠点として活用できること。
- 3 今後の整備計画
 - ・上記の要件が未整備の場合、3年以内に必要な機能や施設を整える具体的な計画があること。

別表1 駐車場所別認知件数

	2023年	2024年
認知件数	5,762	6,080
場所別		
一般住宅	2,296	2,609
駐車場	1,500	1,643
道路上	207	212
その他	1,759	1,616

別表2 都道府県別件数

順位	2023年		2024年	
	県	件数	件	件数
1	千葉	746	愛知	866
2	愛知	698	埼玉	781
3	埼玉	683	千葉	706
4	茨城	615	茨城	567
5	神奈川	461	神奈川	536

別表3 車種別の盗難台数及び盗難率

車種 (通称名)	上段:盗難台数 下段:盗難率(千台比)	
	2023年	2024年
ランドクルーザー	643 2.2	1,064 3.4
プリウス	428 0.2	539 0.3
アルファード	700 0.9	488 0.7
レクサスLX	261 32.7	230 23.3
ハイエース	187 0.2	170 0.2

盗難率：盗難台数を保有者数等で除し、1,000を乗じたもの。

警察庁のまとめによると、令和6年の全国の自動車盗の認知件数は6,080件で前年より318件の増加となりました。自動車盗難は、平成15年の6万4,223件をピークに減少していますが、キーなしの割合が高くなつており、令和6年は45

70件で全体の75.2%を占め、盗難被害に遭った自動車の4台のうち約3台がキーを抜きドアロックをしていないにもかかわらず、プレートの盗まれる被害も多く発生しています。警察庁、関係省庁及び民間19団体から成る「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクト

のとおり、特定の地域や車種に集中しています。また、自動車本体だけでなく、カーナビやナンバープレートが盗まれる被害も多く発生しています。警察庁、関係省庁及び民間19団体から成る「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクト

呼びかけています。備が充実した駐車場を利用する「貴重品は車内に放置しない」ことなどを呼びかけています。

自動車盗難の発生状況 4台に3台はキーなしの状態でも被害

警察庁

チームは、盗難防止のため、「短時間でも車から離れるときは完全に窓を閉め、キーを抜いてハンド

な、第14回定時総会

国土交通省は、令和6年度のリコール総届出件数及び総対象台数の速報値を発表しました。それによると、別表のとおり、総届出件数は、国産車、輸入車の合計が337件で、前年度から12件の減少、総対象台数でも国産車、輸入車の合計が7,564,968台で、前年度から539,249台減少しました。

別表 令和6年度のリコール届出件数	総届出件数	総対象台数
国産車	167件 (-2件)	6,924,715台 (-703,325台)
輸入車	170件 (-10件)	640,253件 (+164,078件)
合計	337件 (-12件)	7,564,968件 (-539,249件)

()内は対前年度比

山形県の4月における新車新規登録・届出た数は、総合計3,510台で前年同月比5.5%増と4ヶ月連続の増加となりました。○登録自動車は合計で25%増で4ヶ月連続の増加となりました。乗用車全体で3.8%増で4ヶ月連続の増加のうち普通車が1.2%の増、小型車は8.0%の増で共に4ヶ月連続の増加となりました。貨物車全体では3.2%減で3ヶ月ぶりに減少、その他のバス、特種等は10.1%減で7ヶ月連続の減少となりました。

別表 4月新車新規登録・届出た数

			7年4月	前年同月	増 減	率
登録自動車	乗 用	普 通	1,055	1,042	13	1.2
		小 型	687	636	51	8.0
	計		1,742	1,678	64	3.8
	貨 物		215	222	▲ 7	▲ 3.2
	その他		62	69	▲ 7	▲ 10.1
	計		2,019	1,969	50	2.5
軽自動車			1,416	1,265	151	11.9
小型二輪車			75	92	▲ 17	▲ 18.5
総 合 計			3,510	3,326	184	5.5

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

令和6年度リコール届出件数
対前年度比、
件数・台数が共に減少

国土交通省

4月の県内新車新規登録・届出た数は、総合計5,505%増(4ヶ月連続増加)

東北運輸局

GREEN×EXPO2027 特別仕様ナンバープレートの交付を開始します!

～事前申込は6月9日から～

国土交通省

国土交通省では、GREEN×EXPO2027（2027年国際園芸博覧会）の開催を記念した特別仕様のナンバープレートを7月14日(月)から交付を開始します。

なお、事前の申し込みが必要で6月9日(月)から受付を開始しています。

普及を通じて多くの方々にGREEN×EXPO2027を身近に感じてもらい、開催機運の醸成を目的として交付するものです。

1 ナンバープレートのデザイン

登録自動車（自家用）	登録自動車（事業用）	軽自動車（自家用）
横浜599 さ20-27	横浜599 あ20-27	横浜589 ろ20-27

※自動車の区分を明確にするため、事業用登録車は「緑色」、自家用軽自動車は「黄色」の枠取りの塗色が施されます。

2 交付期間等

申込受付：令和7年6月9日(月)～

交付期間：令和7年7月14日(月)～ 令和9年11月30日(火)

3 交付料金(山形・庄内ナンバー)

・中型番号標：9,430円（2枚1組）

・大型番号標：14,550円（2枚1組）

※この料金に加え、1,000円以上の寄付をすると、フルカラー版が選択できます。寄付がない場合はモノトーン版となります。

4 お申し込み方法

ウェブサイト(<https://www.kibou-number.jp>)からお申込みいただくか、お近くのディーラー又は整備工場等にご相談ください。

第48回

理事会を開催

県自家用自動車協会

5月21日、山形ランドホテルにおいて、山形県自家用自動車協会第48回理事会が開催されました。

は、6月25日午前11時、山形ランドホテルにおいて開催されます。



理事会の開催風景

3月の県内新車新規登録・届出た数は、総合計17.2%増(3ヶ月連続増加)

東北運輸局

山形県の3月における新車新規登録・届出た数は、総合計6,154台で前年同月比17.2%増と3ヶ月連続の増加となりました。

○登録自動車は合計で13.6%の増と3ヶ月連続の増加となり、乗用車全体でも15.2%の増と3ヶ月連続の増加となりました。うち普通車が0.5%の増、小型車は48.8%の増と共に3ヶ月連続の増加となっています。貨物車全体では11.6%の増と2ヶ月連続の増加、一方でその他のバス、特種等につい

ては17.9%減と6ヶ月連続の減少となっています。○軽自動車は22.4%増で3ヶ月連続の増加、小型二輪車は17.1%増で8ヶ月ぶりの増加となっています。

別表 3月新車新規登録・届出た数

		7年3月	前年同月	増 減	率	
登録自動車	乗 用	普 通	1,859	1,850	9	0.5
		小 型	1,202	808	394	48.8
	計	3,061	2,658	403	15.2	
	貨 物	317	284	33	11.6	
	その他	96	117	▲ 21	▲ 17.9	
	計	3,474	3,059	415	13.6	
	軽自動車	2,632	2,150	482	22.4	
小型二輪車		48	41	7	17.1	
総 合 計		6,154	5,250	904	17.2	

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値